

# 鳴門市地域公共交通活性化協議会

地域公共交通調査事業(計画策定事業)  
事業評価(令和4年度)

## 鳴門市の基礎データ

本市は徳島県の北部に位置し、香川県東かがわ市に隣接している。総面積135.66㎡、人口54,622人、高齢化率は35.4%(令和2年国勢調査)。市域の西部は山に囲まれており、北部は海に面している。大毛島、高島、島田島の3つの離島を有する。

## 鳴門市における主な公共交通概要

	路線バス		デマンド(バス・タクシー)事業者数	その他
	事業者数	路線数		
全体	3	12	0	鉄道1事業者2路線 渡船3路線 スクールバス4幼小中校区
うち 公営・コミバス等	1	3	0	

## 協議会の構成員

①市民又は利用者の代表者②一般旅客自動車運送事業者及びその組織する団体の指名する者③一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体の代表者④四国運輸局徳島運輸支局の職員⑤市の職員⑥道路管理者、警察署、学識経験者その他の交通会議の運営上必要と認められる者

## 鳴門市の公共交通ネットワーク図

### ◆概況

本市の公共交通ネットワークは、市域に分散する集落と中心市街地を結ぶ生活路線として展開しており、公共交通の一般的なカバー圏とされる、駅から半径800m以内、バス停から300m以内の圏内に住む人口は43,397人であり、総人口54,622人(令和2年国勢調査)の79.4%をカバーしている状況である。

一方で、島田島や大麻町の市域の一部で公共交通空白地が存在している。

### ◆鳴門市中心部

鉄道(JR鳴門線)、徳島バス(鳴門線など7路線)、地域バス(市内循環線など3路線)が運行

### ◆鳴門公園エリア

徳島バス鳴門公園線を主路線として、鳴門線、鳴門藍住線、鳴門大麻線も重複して運行

### ◆北灘エリア

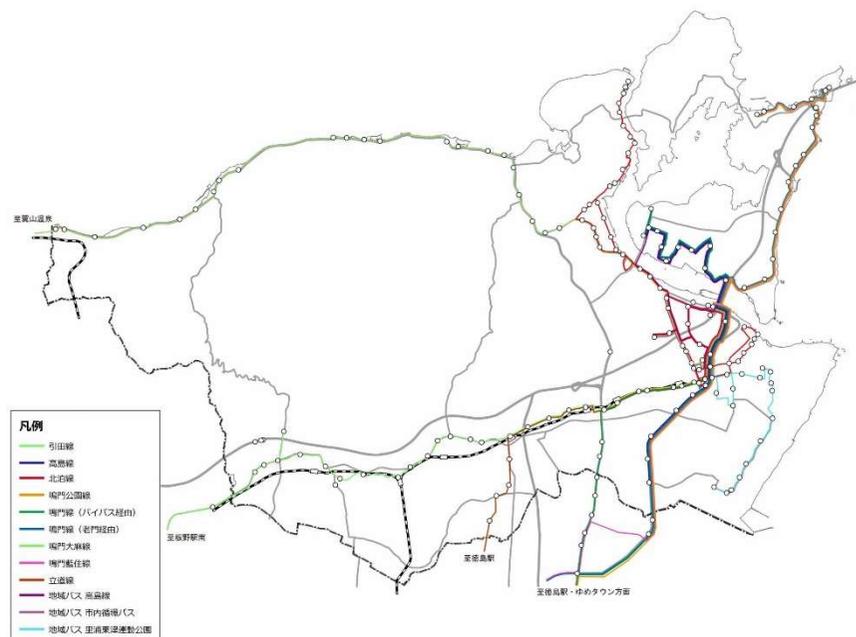
徳島バス引田線が運行

### ◆瀬戸エリア

徳島バス北泊線を主路線として、引田線が重複して運行

### ◆板東エリア

鉄道(JR高德線)、徳島バス鳴門大麻線が運行



## 具体的な課題・問題点、事業の目的・必要性

### ◆課題・問題点

- ・移動が困難になることが予測される高齢者の移動手段の確保
- ・現状の交通サービス水準を維持するために、運行便数や時間帯の見直しなど運行効率の改善
- ・各交通モード間の乗り継ぎ時間の短縮やシームレスな乗り継ぎの実現
- ・公共交通利用者の移動目的や需要に合わせたネットワークの形成やダイヤの構築
- ・路線バス利用者の減少や高齢化が進行する中で、公共交通の持続的な運行を確立するためにデマンド交通など、新たな運行形態の導入
- ・まちづくりとの連携による公共交通ネットワークの形成
- ・過度な自動車依存を見直し、地域で公共交通を支える意識の醸成

## 調査事業の概要

- ・地域内の公共交通に関する情報整理
- ・公共交通の現状と利用実態の把握
- ・交通事業者の実態調査
- ・鳴門市地域公共交通計画(案)のとりまとめ
- ・協議会の開催

## 協議会における検討状況

- ◆令和4年度第1回協議会(6月7日)  
計画策定の方向性や計画策定に係る各種調査内容について審議
- ◆令和4年度第2回協議会(10月31日)  
各種調査結果から明らかとなった課題等を基に交通計画の基本方針及び目標について審議
- ◆令和4年度第3回協議会(11月28日)  
第2回会議で承認された基本方針及び目標を達成するための具体的な施策を含めた計画素案について審議

## 事業の状況

### ◆地域内の公共交通に関する情報整理

前回計画である「鳴門市地域公共交通総合連携計画」の検証を行うとともに、改めて地域概況、通勤・通学の動向、公共施設等の施設分布、道路交通の概況について整理を行った。

### ◆公共交通の現状と利用実態の把握

市民3,000人を対象とした市民アンケート、市内に存する高等学校を対象とした高校生アンケート、公共交通利用者への調査員による聞き取り調査の実施等により、公共交通の現状と利用実態の把握を行った。

### ◆交通事業者の実態調査

市内を運行する路線バス事業者やタクシー事業者等の交通事業者に対して、市が実施した各種調査結果等を共有するとともに、課題解決に向けた施策・事業等に関するヒアリング調査を実施した。

### ◆鳴門市地域公共交通計画(案)のとりまとめ

上述の調査事業の結果を基に、基本方針や計画目標等を設定するなど「鳴門市地域公共交通計画(案)」のとりまとめを行った。

### ◆協議会の開催

令和4年6月7日、10月31日、11月27日の3回協議会を開催し、12月中に計画素案を策定した。

## 自己評価

### 事業実施の適切性

実施を予定していた下記の5つの調査事業について、計画通り適切に実施されている。

- ①地域内の公共交通に関する情報整理
- ②公共交通の現状と利用実態の把握
- ③交通事業者の実態調査
- ④鳴門市地域公共交通計画(案)のとりまとめ
- ⑤協議会の開催

### 調査結果を受けた計画策定の方針、今後への反映

調査結果を基に市の公共交通をとりまく現状と課題について整理を行い、それらの課題を解決するため「多様なニーズに適応したサービスの提供と利用促進に基づく持続可能な公共交通ネットワークの実現」を基本方針として定めた。また、利用しやすく効率的な公共交通体系を構築するため、①最大効率による持続可能な公共交通体系の構築②利用者ニーズに適応した公共交通サービスの提供③新たな需要の創出に向けた公共交通利用の促進の3つの目標を設定し、それらの目標を達成していくための事業の推進により、持続可能な公共交通ネットワークの構築することを鳴門市地域公共交通計画に明記する。

### 今後のスケジュール

- ・令和4年12月27日～令和5年1月31日 パブリックコメント実施
- ・令和5年2月上旬 令和4年度第4回鳴門市地域公共交通活性化協議会
- ・令和5年3月末 鳴門市地域公共交通計画策定